

## I 団体の概要

令和2年7月1日現在

団体名	公益社団法人 姫路市シルバー人材センター					
団体所管課	産業局 商工労働部 労働政策課					
設立	昭和59年(1984年) 3月31日					
資本金	0千円	市出資金	0千円	%		
設立目的						
定年退職後等に、自らの生きがいの充実や社会参加を希望する高齢者に対し、その労働力を活用し、臨時的・短期的で軽易な業務に係る就業の機会を確保し提供することにより、就業機会の増大と福祉の増進を図り、もってその能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与することを目的とする。						
寄附行為(定款)に掲げる事業						
1 高齢者の就業に関する情報の収集及び提供 2 高齢者の就業に関する調査及び研究 3 高齢者に対する就業相談の実施 4 高齢者に対する臨時的・短期的で軽易な業務に係る就業の機会の確保及び提供 5 臨時的・短期的で軽易な業務を希望する高齢者への職業紹介又は派遣事業の実施 6 就業に必要な知識及び技能の付与を目的とした講習会等の開催 7 その他法人の目的を達成するため必要な事業						
主 な 事 業	事業名	R3年度事業費 (予算額)	事業概要			
	受託事業	1,440,846千円	受託(請負)契約に基づき高齢者に就業機会を提供			
役 職 員 数 (注1)		常勤(注2) (うち市派遣)	非常勤	一般職 (うち市派遣)	嘱託・ 臨時等	
	役員数	2人(0人)	17人	職員数	4人(0人)	22人
	役員平均年齢(常勤)	60.5歳	役員平均年収(常勤)	4,005千円		
	職員平均年齢(一般職)	40.3歳	職員平均年収(一般職)	4,666千円		
年度		H30	R1	R2(決算見込み)		
市 か ら の 財 政 支 出 等	委託料	292,732千円	311,649千円	317,312千円		
	補助金	24,500千円	27,000千円	27,000千円		
	貸付金 (年度末残高)	0千円	0千円	0千円		
	損失補償の対象 となる借入金	0千円	0千円	0千円		
財 務 概 況	当期収入	1,481,294千円	1,525,865千円	1,386,307千円		
	当期支出	1,475,553千円	1,503,120千円	1,399,938千円		
	当期収支差額	5,741千円	22,745千円	△13,631千円		
	次期繰越収支差額	205,373千円	228,118千円	214,487千円		
	総資産	415,290千円	422,568千円	408,937千円		
	総負債	127,936千円	112,470千円	112,470千円		
	当期正味財産増減額	5,741千円	22,745千円	△13,631千円		
	正味財産	287,354千円	310,098千円	296,467千円		
ホームページアドレス	http://www.himeji-sjc.or.jp/					

注1: 役員平均年齢、役員平均年収、職員平均年齢、職員平均年収には、市からの派遣職員は含まない。

注2: 常勤役員には、週29時間以上勤務する常勤的な非常勤役員を含む。

## II 基本方針

### 1. 団体の前計画期間（平成28年度～令和2年度）における主な取組実績

- ・会員の確保を図るため、参加者の交通の利便性を考慮し、入会説明会を「じばさんびる」又は「勤労市民会館」で毎月2回実施した。また、女性限定の入会説明会や夢前・安富地域を対象とした入会説明会を実施した。
- ・会員のニーズを把握し、就業のミスマッチの防止及び未就業の減少に努めるため、就業相談を毎月2回実施した。
- ・理事会、部会を随時開催し、事業運営の最適化、就業機会の開拓、会員の確保及び安全・適正就業、事業計画の着実な推進に向け組織的に取り組んだ。
- ・FMゲンキや市役所・郵便局の封筒広告等多様な広報媒体を活用し、就業機会の確保に努めた。
- ・姫路城観光ガイドでは、新規ガイドを補充し、案内件数の増加に努めた。
- ・家事援助や子育て支援サービス事業で市民ニーズに対応するため、講習会を実施した。

### 2. 団体を取り巻く環境・経営上の課題

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、企業収益や個人消費が減少して雇用情勢も悪化している状況で、収入が減少しており、当センターの運営に大きな影響を与えている。
- ・会員数は定年後の継続雇用制度導入の影響を受け、平成21年度をピークに減少傾向が続き、それとともに会員の高齢化が進んでいる。

### 3. 団体の将来像（ビジョン）

高齢化社会の到来と定年制の延長を見据えて、年金のみでは生活できないという年金制度を補完する仕組みが必要とされ、就業対策として全国的に団体が設立された中で、姫路市シルバー人材センターも設立された経緯があり、また、高年齢者の持つ経験と能力を活用して社会参加を行い、働くことが生きがいづくりにつながり、活力ある地域社会づくりに貢献するという今日的な課題にも対応することが期待されているため、民間事業者との棲み分けにも留意しながら、高年齢者の就業機会の確保、拡大を目指す。また、地域社会への貢献を通じて、社会的役割と責任を果たしていく。

### 4. 団体の改革の方向性

#### 事業推進の方策

- 1 情報の収集、提供の強化
- 2 就業機会の積極的な開拓
- 3 就業機会の提供強化
- 4 安全就業対策の推進
- 5 適正就業の推進
- 6 運営体制の充実強化
- 7 地域の特性を生かした自主事業の開拓

### Ⅲ 健全経営に関する計画

計画期間：令和3年度～令和7年度

#### 1. 経営目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就業機会の開拓</li> <li>・ 経営の効率化</li> </ul>
目標達成に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就業開拓員の積極的活用を図る。</li> <li>・ 組織や事務処理体制を見直し、効率化を推進する。</li> </ul>

#### 2. 数値目標・指標

健全経営に関する数値目標	令和元年度実績値	目標値（令和7年度）
契約金額	1,468,456千円	1,523,708千円
会員数	2,546人	3,000人

<b>経営目標達成に向けた取組みの進捗状況やその成果を測るための指標</b>
消費者物価指数（景気により業務の受注が変動するため）
会員数（会員数の増減により受注業務が変動するため）

#### 3. 事業運営の最適化

事業の最適化及び事業実施方法の適正化	
受託事業	高齢化の進行と元気な高齢者の増加に対応する。公益性を高める方策（清掃ボランティア活動など非営利的活動の強化による組織のPR）を実施する。
自主事業	姫路城への観光客に対応するため、姫路城観光ガイド事業の充実を図る。

利用者満足度の把握・改善	利用者（会員と発注者）に対するアンケートを適宜実施し、会員の就業実態や満足度、要望等を把握し、シルバーの運営に係る様々な課題について検討と改善を行う。
--------------	---

#### 4. 団体運営体制の改善

##### (1) 執行体制

役員体制	現行の役員数は、19人で当分の間は現体制を維持するが、随時、適正規模に努めるよう見直す。
職員体制	職員については、現体制を維持するが、随時、適正規模、適正配置に努めるよう見直す。
リスク管理の強化	会計処理のチェック体制や各連絡所と事務局との連携体制等について、定期的に検証・見直しを行い、センターの健全かつ適正な事務の運営に努める。また、職員の研修を充実しコンプライアンス意識の醸成を図る。

## (2) 人事・給与

「外郭団体の職員の給与及びその他の勤務条件に関する指導基準」への適合	給与等については、当該指導基準に適合している。
人材育成及び士気の高揚	上部団体（全国、近畿、県シルバー人材センター協会）が実施する研修に参加し組織力を強化する。

## (3) 財務管理

収入確保の取組み	組織を挙げて個別企業への就業開拓を積極的に展開する。 公共的団体や業界等の広報媒体に広告を掲載する。
基本財産等の運用	安全で安定した財産運用に努める。

## 5. 財務状況の見通し（試算）

年度		R3	R4	R5	R6	R7	
財 業	受託	当期収入	1,496,376千円	1,506,869千円	1,517,435千円	1,528,075千円	1,534,187千円
		当期支出	1,441,982千円	1,452,093千円	1,462,276千円	1,472,529千円	1,478,419千円
		当期収支差額	54,394千円	54,776千円	55,159千円	55,546千円	55,768千円
		次期繰越収支差額	—	—	—	—	—
務 の 他	そ	当期収入	47,348千円	47,367千円	47,386千円	47,405千円	47,406千円
		当期支出	79,255千円	79,811千円	80,370千円	80,934千円	81,258千円
		当期収支差額	31,907千円	32,444千円	32,984千円	33,529千円	33,852千円
		次期繰越収支差額	—	—	—	—	—
概 計	合	当期収入	1,543,724千円	1,554,236千円	1,564,821千円	1,575,480千円	1,581,593千円
		当期支出	1,521,237千円	1,531,904千円	1,542,646千円	1,553,463千円	1,559,677千円
		当期収支差額	22,487千円	22,332千円	22,175千円	22,017千円	21,916千円
		次期繰越収支差額	273,246千円	295,577千円	317,752千円	339,770千円	361,686千円
況		総資産	427,654千円	430,647千円	433,662千円	436,697千円	438,444千円
		総負債	113,824千円	114,620千円	115,423千円	116,231千円	116,696千円
		当期正味財産増減額	22,487千円	22,332千円	22,175千円	22,017千円	21,916千円
		正味財産	313,830千円	316,027千円	318,239千円	320,467千円	321,749千円